

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 3 月 18 日 (2021.3.18)

【公開番号】特開 2020-38797 (P2020-38797A)

【公開日】令和 2 年 3 月 12 日 (2020.3.12)

【年通号数】公開・登録公報 2020-010

【出願番号】特願 2018-165482 (P2018-165482)

【国際特許分類】

H 0 5 H 7/10 (2006.01)

H 0 5 H 13/02 (2006.01)

A 6 1 N 5/10 (2006.01)

【F I】

H 0 5 H 7/10

H 0 5 H 13/02

A 6 1 N 5/10 H

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 5 日 (2021.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 6】

図 3 において、低エネルギー領域ではサイクロトロンと同様にイオンの入射点 5 2 付近を中心とする軌道をとる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 7】

次にビームの取出し方法について説明する。本実施例の円形加速器 3 9 では、ビームの取出しには、高周波キッカ 7 0、ピーラ磁場領域 4 4、リジェネレータ磁場領域 4 5、セプタム電磁石 4 3、上流側コイル 3 4、下流側コイル 3 5 および高エネルギービーム輸送系 4 7 を用いる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 9】

ピーラ磁場領域 4 4 およびリジェネレータ磁場領域 4 5 は、磁性体製の複数の磁極片がコイル、あるいはその両者を非磁性材にて主磁極 3 8 に対して固定配置することで形成する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 2 9 】

また、ピーラ磁場領域 4 4、リジェネレータ磁場領域 4 5 の形成に、磁性体に加えて、上流側コイル 3 4 と下流側コイル 3 5 も用いるとすれば、ビームの効率的な取出しに向けた第 1 および第 2 擾乱磁場領域の磁場強度調整が可能となる。